

第25回日本透析アクセス医学会学術集会・総会 ご登壇についての詳細

大会長講演 11月28日(日) 8:30~8:55

より良い組織へのアクセス

座長：坪井 正人先生(偕行会安城共立クリニック 内科)

演者：佐藤 純彦先生(医療法人社団クレド さとうクリニック)

基調講演 11月27日(土) 14:10~14:40

VA血管内治療認定医制度に関してのご報告並びに今後の展望に関して

座長：川西 秀樹先生(土谷総合病院 腎疾患)

演者：深澤 瑞也先生(山梨大学医学部附属病院 血液浄化療法部)

特別講演1 11月28日(日) 16:40~17:40

ハピネスの循環~ゲストからいただくハピネス~

座長：佐藤 純彦先生(医療法人社団クレド さとうクリニック)

演者：花木 等先生(東京ディズニーランドホテル 副総支配人)

特別講演2 11月28日(日) 14:25~15:25

透析患者における新型コロナウイルス感染症の現況と最新の話

座長：武本 佳昭先生(大阪市立大学医学部附属病院 人工腎部)

演者：菊地 勘先生(医療法人社団豊済会 下落合クリニック 腎臓内科・透析内科)

教育講演1 11月27日(土) 10:40~11:40

心臓外科スペシャリストによる血管手術に必要な知識・道具・テクニックに関する至言

座長：室谷 典義先生(独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院 腎センター)

演者：小坂 眞一先生(塩田病院 総合診療科)

教育講演2 11月28日(日) 13:20~14:20

バスキュラーアクセスの長期開存と合併症予防のための戦略

座長：水口 潤先生(社会医療法人川島会 川島病院 腎臓内科)

演者：山下 賀正先生(医療法人社団正賀会 代々木山下医院 外科)

大会企画講演 11月27日(土) 10:40~11:40

バイオチューブの未来

座長：友 雅司先生(大分大学医学部 医学部附属臨床医工学センター)

演者：中山 泰秀先生(バイオチューブ株式会社)

特別企画1 11月27日 (土) 14:50~16:50

やりたくないシャント手術...”誰か代わって!!”

座長：室谷 典義先生（独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院 腎センター）

土田 健司先生（土田透析アクセスクリニック 透析血管外科）

演者：白鳥 享先生（独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO） 千葉病院 透析科）

「V側を内頸静脈に吻合したAVグラフトの1例ー術後シャント不全と術後グラフト感染の治療に難渋した症例ー」

佐藤 暢先生（桃仁会病院 VAセンター）

「術者と施設の観点から見た「やりたくないシャント手術」

野島 武久先生（のじまバスキュラーアクセスクリニック）

「そのシャント手術承ります」

副島 一晃先生（済生会熊本病院 腎臓科）

「グラフト感染の治療」

笹川 成先生（善仁会 横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター）

「私の失敗」

■時間配分

発表時間 20分 質疑 4分

総合討論なし 計 24分

特別企画2 11月28日 (日) 9:00~11:30

日本医療の明日、フィジシャン・アシスタントを考える

座長：本田 宏先生（NPO 法人医療制度研究会）

佐藤 純彦先生（医療法人社団クレド さとうクリニック）

演者：本田 宏先生（NPO 法人医療制度研究会）

「医師の絶対数不足解決の切り札、Physician Assistant 導入がなぜ必要か」

早川 佐知子先生（明治大学 経営学部）

「海外のフィジシャン・アシスタントの活躍から見る可能性」

肥田 泰幸先生（東都大学 幕張ヒューマンケア学部 臨床工学科）

「臨床工学技士はどこまで医師の手助けができるのか？」

立石 実先生（聖隷浜松病院 心臓血管外科）

「当院における臨床工学技士、診療看護師によるタスクシフト・タスクシェアの取り組み」

河野 恵美子先生（大阪医科薬科大学 一般・消化器外科）

「女性外科医の現状とフィジシャン・アシスタントへの期待」

松岡 哲平先生（医療法人社団 大誠会）

「透析クリニック医療スタッフの業務分担 ～経営者目線からの期待～」

吉田 一成先生（北里大学医学部新世紀医療開発センター 臓器移植学）

「腎移植におけるチーム医療スタッフ ～腎移植医療の質の向上を支えるスタッフ達～」

コメンテーター：沼田 明先生（高知高須病院 泌尿器科）

内田 明子先生（聖隷佐倉市民病院 看護部）

■時間配分

発表時間 15分 質疑 3分

総合討論あり 32分

※本田先生のみ発表時間 10分、質疑なし

計 150分

シンポジウム 1 11月27日(土) 9:00~10:30

今後の診療報酬改定に向けての戦略

座長：深澤 瑞也先生(山梨大学医学部附属病院血液浄化療法部)

松岡 哲平先生(医療法人社団大誠会)

演者：小鹿 雅隆先生(医療法人社団清永会 矢吹病院 アクセス科)

「今後の診療報酬改定に向けての戦略~PTAについて~」

室谷 典義先生(独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院 腎センター)

「アクセス手術・PTAの診療報酬はどう変わるか？」

内野 敬先生(東葛クリニック病院 外科)

「透析用長期留置カテーテルの診療報酬改定の意義」

池田 潔先生((医)心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科 透析内科)

「アクセスの過去と現在から読み取るあるべき診療報酬の考え方」

宮田 昭先生(熊本赤十字病院 腎センター)

「今後の診療報酬改定に向けての戦略~カフ型カテーテル~」

■時間配分

発表時間 12分 質疑 3分

総合討論あり 15分 計 90分

シンポジウム 2 11月27日(土) 9:00~10:30

過剰血流制御の術式をどのように選択するか

座長：神應 裕先生(神應透析クリニック)

大崎 慎一先生(玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 外科)

演者：末光 浩太郎先生(関西労災病院 内科(腎臓))

「無症候性過剰血流に血流制御術はいるんですか？」

廣谷 紗千子先生(蒼紫会 森下記念病院 透析血管外科)

「過剰血流制御術式を選択 グラフトインターポジションの経験から」

小川 勇一先生(玄々堂君津病院 移植腎臓外科)

「過剰血流に対する外科手術の術式選択 ~グラフト吹き流し法と吻合部縫縮術の観点から~」

白鳥 享先生(独立行政法人 地域医療機能推進機構(JCHO) 千葉病院 透析科)

「当院における内シャント過剰血流制御術施行例の検討」

■時間配分

発表時間 15分 質疑 5分

総合討論あり 10分 計 90分

シンポジウム3 11月27日(土) 11:50~13:20

VA エコーの現状と標準化へ向けた課題

座長：春口 洋昭先生(飯田橋春口クリニック)

村上 康一先生(みはま成田クリニック)

演者：春口 洋昭先生(飯田橋春口クリニック)

「VA エコーの現在・過去・未来」

小林 大樹先生(関西ろうさい病院 中央検査部)

「機能評価における標準化への課題」

山本 裕也先生(永令会 大川 VA 透析クリニック)

「形態評価における標準化への課題」

人見 泰正先生(桃仁会 桃仁会病院 臨床工学部)

「患者血管が機能評価測定値に及ぼす影響」

安部 貴之先生(東京女子医科大学 臨床工学部)

「超音波診断装置の機種間における流量測定値の違いと標準化への解決策」

■時間配分

発表時間 12分 質疑 3分

総合討論あり 15分 計 90分

シンポジウム4 11月27日(土) 11:50~13:20

高齢化する透析患者と長期留置カテーテル

座長：東 仲宣先生(特定医療法人財団松圓会東葛クリニック病院 外科)

久木田 和丘先生(札幌北楡病院 外科)

演者：飯田 潤一先生(医療法人社団 養生館 苫小牧日翔病院 透析センター)

「安心・安全な挿入・管理と合併症対策」

池田 潔先生(池田バスキュラーアクセス・透析・内科)

「安心・安全な挿入・管理と合併症対策」

内野 敬先生(東葛クリニック病院 外科)

「透析患者の高齢化を踏まえたカフ型カテーテルの安全、安心な挿入と管理」

小川 智也先生(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター)

「安心・安全な挿入・管理と合併症対策」

宮田 昭先生(熊本赤十字病院 腎センター)

「高齢化する長期留置カテーテル患者における安全な挿入、管理と合併症対策」

■時間配分

発表時間 10分 質疑 2分

総合討論あり 30分 計 90分

シンポジウム 5 11月27日(土) 17:00~19:30

バスキュラーアクセス管理 多職種役割と連携の意義

座長：新宅 究典先生((特医)あかね会土谷総合病院 人工臓器部)

鈴木 史子先生(医療法人社団みはま病院 看護部)

演者：小川 智也先生(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター)

「医師から他職種に求めるもの」

徳田 哉先生(医療法人 原三信病院 腎臓病センター)

「VA管理に対する看護師の役割と意義」

人見 泰正先生(桃仁会 桃仁会病院 臨床工学部)

「臨床工学技士としての多職種連携のあり方と意義」

川鍋 雄司先生(医療法人社団クレド さとうクリニック 医療技術部)

「臨床検査技師の役割と課題」

桜井 寛先生(偕行会セントラルクリニック バスキュラーアクセス治療センター)

「診療放射線技師の役割と課題」

中村 嘉孝先生(特定医療法人 衆済会 増子記念病院 薬剤課)

「薬剤師の役割と課題」

菅井 啓太先生(医療法人社団 誠仁会 みはま病院 栄養部)

「透析患者のバスキュラーアクセス背景別の栄養指標比較から見た栄養士の役割と課題」

■時間配分

発表時間 15分 質疑 3分

総合討論あり 24分 計 150分

シンポジウム 6 11月27日(土) 17:00~19:00

ステントグラフトの適応と限界

座長：佐藤 隆先生(偕行会セントラルクリニック バスキュラーアクセス治療センター)

深澤 瑞也先生(山梨大学医学部附属病院 血液浄化療法部)

演者：野口 智永先生(吉祥寺あさひ病院 バスキュラーアクセスセンター)

「ステントグラフトの使用方法」

甲斐 耕太郎先生(バスキュラーアクセスクリニック目白)

「ステントグラフト症例提示 基礎編」

上村 太朗先生(松山赤十字病院 腎臓内科)

「ステントグラフト症例提示 応用編」

宮本 雅仁先生(横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター)

「単施設のデータから見たステントグラフトの現状と限界」

末光 浩太郎先生(関西労災病院 内科(腎臓))

「3施設のデータから見たステントグラフトの現状と限界」

■時間配分

発表時間 20分 質疑 4分

総合討論なし 計 120分

シンポジウム7 11月28日(日) 10:40~12:10

看護師がシャント穿刺に関わる意義～アクセスに焦点を当てた看護技術を高めよう～

座長：前波 輝彦先生（医療法人あさお会 あさおクリニック）

安藤 博子先生（おもて内科糖尿病クリニック）

演者：徳田 勝哉先生（医療法人 原三信病院 腎臓病センター）

「穿刺部位の選定から穿刺終了までの看護「Build up to a few minutes of quality」」

山本 真利奈先生（熊本赤十字病院 腎センター）

「抜針・止血時の看護」

三村 直美先生（JA 福島厚生連 白河厚生総合病院 透析センター 看護部）

「高齢透析患者のバスキュラーアクセス看護」

銚立 優作先生（公益財団法人 豊郷病院 血液浄化センター）

「遺族を交えて行うデスカンファレンスの実際と意義」

■時間配分

発表時間 15分 質疑 5分

総合討論あり 10分 計 90分

シンポジウム8 11月28日(日) 12:20~14:20

超高耐圧バルーンの適応と限界

座長：宮田 昭先生（熊本赤十字病院 腎センター）

佐藤 暢先生（桃仁会病院 VAセンター）

演者：森本 章先生（愛仁会 井上病院 放射線科）

「超高耐圧バルーンの歴史」

山本 脩人先生（和歌山県立医科大学附属病院 腎臓内科）

「なぜ、いま、CONQUEST®を選ぶのか」

清水 泰輔先生（埼玉医科大学総合医療センター 腎高血圧内科、血液浄化センター）

「当院におけるATHLETIS使用経験」

森田 さやか先生（バスキュラーアクセスクリニック目白）

「症例提示（18YOROI）」

宮本 雅仁先生（横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター）

「超高耐圧バルーンの限界とこれからの役割」

■時間配分

発表時間 20分 質疑 4分

総合討論なし 計 120分

シンポジウム9 11月28日(日) 14:25~16:25

Drug-Coated-Balloon (DCB) の適応と限界

座長：小川 智也先生(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター)

長沼 俊秀先生(大阪市立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学)

演者：深澤 瑞也先生(山梨大学医学部附属病院血液浄化療法部)

「DCBの適応と適正使用指針」

村上 雅章先生(静岡県立総合病院透析アクセスセンター)

「DCB 症例提示(基礎編)」

宮本 雅仁先生(横浜第一病院バスキュラーアクセスセンター)

「Drug-Coated-Balloon 症例提示 ~タンデム病変の症例~」

春口 洋昭先生(飯田橋春ロクリニック)

「DCBでシャントの管理は変わるか？」

末光 浩太郎先生(関西労災病院 内科(腎臓))

「3施設のデータから見たDCBの現状と課題」

■時間配分

発表時間 20分 質疑 4分

総合討論なし 計 120分

ワークショップ1 11月27日(土) 9:00~10:30

穿刺技能における伝授の工夫と顕在化~エコーがなくてもできる!~

座長：上條 祐司先生(信州大学医学部 腎臓内科)

鈴木 聡先生(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

演者：芝本 隆先生(前田記念腎研究所)

「血液透析の変遷を背景に穿刺技術の転換点と技術伝承」

鈴木 雄太先生(東京女子医科大学 臨床工学科)

「穿刺技能の向上とそれを伝える工夫」

大瀧 保明先生(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

「穿刺の巧緻性に関する定量的把握」

木全 直樹先生(中野南ロクリニック)

「穿刺スキル・バスキュラーアクセス(VA)管理技術が透析経営に及ぼす影響」

鈴木 聡先生(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

「穿刺実行者の前頭前野における脳血流変化を捉える意義」

■時間配分

発表時間 12分 質疑 3分

総合討論あり 15分 計 90分

ワークショップ2 11月27日(土) 11:50~13:20

腹膜透析カテーテル関連外科手術を考える

座長：深澤 瑞也先生(山梨大学医学部附属病院 血液浄化療法部)

寺脇 博之先生(帝京大学ちば総合医療センター 第三内科(腎臓内科)・腎センター)

演者：寺脇 博之先生(帝京大学ちば総合医療センター 第三内科(腎臓内科)・腎センター)

「JSDT 腹膜透析ガイドライン 2019 が目指したもの」

深澤 瑞也先生(山梨大学医学部附属病院 血液浄化療法部)

「腹膜透析カテーテル挿入術の基本」

山岸 敬先生(医療法人社団泉会 東名富士クリニック)

「SMAP 法、ノンスタイレット法」

大崎 慎一先生(玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 外科)

「容易で安全な腹腔鏡補助下の PD カテーテル挿入術」

野垣 文昭先生(島田市立総合医療センター 腎臓内科)

「経皮的腹膜透析カテーテル留置術を実施する際の注意点に関して」

杉原 裕基先生(独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院 透析科)

「SPD 法による出口部変更術」

窪田 実先生(白報会王子病院 腎臓内科)

「CRF 法によるカテーテル位置異常の修復」

■時間配分

発表時間 10 分 質疑なし

総合討論あり 20 分 計 90 分

ワークショップ3 11月27日(土) 14:50~16:50

VA 管理の未来

座長：武本 佳昭先生(大阪市立大学医学部附属病院 人工腎部)

若山 功治先生(わかやま透析クリニック中野南台)

演者：星子 清貴先生(特定医療法人 あかね会 土谷総合病院 診療技術部)

「遠隔医療システムを用いた VA 管理の現状と未来」

徳田 勝哉先生(原三信病院 看護部)

「VA に対する理学所見の可視化が目指す理学的評価の未来」

川合 徹先生(医療法人 中央内科クリニック)

「透析室で扱うベットサイドエコー活用の未来」

小川 智也先生(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター)

「超音波装置による動静脈の自動判別機能の可能性と未来」

鈴木 聡先生(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

「穿刺自動化を目指した穿刺ハンドリングの特徴に対する顕在化法」

■時間配分

発表時間 15 分 質疑 5 分

総合討論あり 20 分 計 120 分

ワークショップ4 11月27日(土) 14:50～16:50

臨床工学技士によるバスキュラーアクセス(VA)管理の実際
～各施設のスペシャリストに学び、活かそうVAの適正管理～

座長: 植田 敦志先生(日立製作所 日立総合病院 腎臓内科)

村上 淳先生(東京女子医科大学 臨床工学部)

演者: 人見 泰正先生(桃仁会 桃仁会病院 臨床工学部)

「当施設における臨床工学技士によるVA管理の実際」

宮本 照彦先生(中央内科クリニック 診療技術部)

「チームでVA管理のスキルアップを目指す臨床工学技士の取り組み」

松田 政二先生((特医)あかね会 中島土谷クリニック 透析センター)

「当施設における臨床工学技士(CE)によるVA管理の実際」

木船 和弥先生(特定医療法人松圓会 東葛クリニック病院 臨床工学部)

「当施設における臨床工学技士によるVA管理の実際」

安部 貴之先生(東京女子医科大学 臨床工学部)

「全例再循環率測定およびエコーを中心としたVA管理～東京女子医科大学のVA管理～」

■時間配分

発表時間 15分 質疑 3分

総合討論あり 30分 計 120分

ワークショップ5 11月28日(日) 9:00～10:30

みんなで延ばそうアクセス寿命～さまざまなシャントマッサージの取り組み～

座長: 兵藤 透先生(健齢会 ふれあいクリニック泉 泌尿器科学)

水内 恵子先生(池田バスキュラーアクセス・透析・内科 看護部)

演者: 安藤 博子先生(おもて内科糖尿病クリニック)

「さまざまなシャントマッサージの取り組み～オーバービュー～」

安田 透先生(池田バスキュラーアクセス透析内科 腎臓内科)

「透析室から始める加圧式シャントマッサージによるシャント管理」

大崎 慎一先生(玄々堂君津病院 総合腎臓病センター 外科)

「アクセス医から見たシャントマッサージとチーム医療への導入」

川上 崇志先生(新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 臨床工学科)

「アクセスケアチームでの取り組み～臨床工学技士の立場から～」

加藤 基子先生(倉田会えいじんクリニック 臨床工学部)

「シャントマッサージの発展途上国への啓蒙普及の可能性」

室谷 典義先生(独立行政法人 地域医療機能推進機構 千葉病院 腎センター)

「VA外来におけるシャントマッサージ指導」

■時間配分

発表時間 12分 質疑なし

総合討論あり 26分

※安藤先生、室谷先生は発表時間 8分

計 90分

ワークショップ6 11月28日(日) 9:00~10:30

サイコネフロロジーからみたVA管理

座長：小川 智也先生(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター)

青木 栄子先生(医療法人社団駿心会 いなげ腎クリニック)

演者：松久 忠史先生((医)養生館 苫小牧日翔病院 透析センター)

「バスキュラーアクセスの作製、移行とPTA/血栓除去に伴うストレス」

百瀬 昭志先生(寿泉堂総合病院 泌尿器科)

「サイコネフロロジーからみたアクセス穿刺」

増子 佳弘先生(医療法人社団 みむら会 さわむら脳神経・透析クリニック 透析科)

「サイコネフロロジーからみた手術・VAIVT 治療医」

片村 幸代先生(社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院 看護部)

「サイコネフロロジーからみた手術・VAIVT 介助スタッフ」

前田 国見先生(医療法人社団前田記念会 石神井公園じんクリニック 腎臓内科)

「サイコネフロロジー目線の透析現場でのVA管理治療を語る」

小林 清香先生(埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック)

「臨床心理士からみたVA管理とサイコネフロロジー」

■時間配分

発表時間 12分 質疑 2分

総合討論なし 計 90分

ワークショップ7 11月28日(日) 10:40~12:10

困難症例に対する血管内治療～ストラテジーとエンドポイント～

座長：坪井 正人先生(偕行会安城共立クリニック 内科)

後藤 靖雄先生(医療法人真雄会 シェントクリニック仙台東)

演者：宮本 雅仁先生(横浜第一病院 バスキュラーアクセスセンター)

「慢性器質化閉塞に対するVAIVT ～横浜第一病院バスキュラーアクセスセンターの結果～」

坪井 正人先生(偕行会安城共立クリニック 内科)

「困難症例に対する血管内治療～ストラテジーとエンドポイント～「大量の血栓を生じた血栓性閉塞」」

大川 博永先生(医療法人永令会 大川VA透析クリニック)

「石灰化を伴った動静脈吻合部近傍狭窄治療戦略」

若林 正則先生(望星第一クリニック 血管外科)

「困難症例；VAIVT か手術か」

後藤 靖雄先生(医療法人真雄会 シェントクリニック仙台東)

「中枢静脈閉塞症例に対する治療」

■時間配分

発表時間 13分 質疑 5分

総合討論なし 計 90分

ワークショップ 8 11月28日(日) 12:20~13:20

症例から学ぶ VA エコー”これは難しい!”

座長：春口 洋昭先生(飯田橋春口クリニック)

小林 大樹先生(関西ろうさい病院 中央検査部)

演者：北村 健太郎先生(JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 臨床工学科)

「VAIVT 介助業務におけるエコーの活用～CE の立場から～」

佐々木 裕介先生(埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学部)

「症例から学ぶ VA エコー ～臨床工学技士の視点から～」

坂田 久美子先生(津みなみクリニック 透析室)

「透析クリニックにおける、CVT ナースの取り組み」

多田 浩章先生(社会医療法人川島会川島病院 検査室)

「VA 管理におけるエコー検査評価の注意点～自験例からの一考察～」

■時間配分

発表時間 10 分 質疑 5 分

総合討論なし 計 60 分

パネルディスカッション 1 11月27日(土) 10:40~11:40

正確なエコー検査を目指している私の工夫

座長：土井 盛博先生(広島大学病院 透析内科)

小林 大樹先生(関西ろうさい病院 中央検査部)

演者：三輪 尚史先生(偕行会バスキュラーアクセス治療センター)

「血流量を計測する血管の選択や描出法について」

安部 貴之先生(東京女子医科大学 臨床工学部)

「FV の測定精度に関わる血流速度波形の測定時における注意点」

松田 政二先生((特医)あかね会 中島土谷クリニック 透析センター)

「狭窄や閉塞の抽出と計測について」

多田 浩章先生(社会医療法人川島会川島病院 検査室)

「末梢動脈に高度石灰化を有する 2 症例を経験して」

山本 裕也先生(永令会 大川 VA 透析クリニック)

「高位分岐症例に対するエコー検査」

■時間配分

発表時間 8 分 質疑 4 分

総合討論なし 計 60 分

パネルディスカッション2 11月28日(日) 12:20～14:20

目指せエコー下穿刺の達人 ～エコー下穿刺の達人こそ“穿刺”の達人である～

座長：長沼 俊秀先生(大阪市立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学)

人見 泰正先生(桃仁会 桃仁会病院 臨床工学部)

演者：井竹 康郎先生(医療法人 三橋病院 透析)

「エコー下穿刺の基本的操作法と感染対策」

松田 政二先生((特医)あかね会 中島土谷クリニック 透析センター)

「エコー下穿刺に必要な画質設定の提案」

木船 和弥先生(特定医療法人松圓会 東葛クリニック病院 臨床工学部)

「エコー下穿刺で難渋しやすい症例の特徴」

佐久間 宏治先生(医療法人社団クレド さとうクリニック)

「AVF以外のVAに対するエコー下穿刺の応用」

平山 遼一先生(高橋内科クリニック 看護部)

「エコー下穿刺のメリットと今後より普及させるために必要なこと」

■時間配分

発表時間 15分 質疑 5分

総合討論あり 20分 計 120分